



エコドライブ10のススメ

- 1 ふんわりアクセル「eスタート」**
やさしい発進を心がけましょう。

普通の発進より少し穏やかに発進する(最初の5秒で、時速20km程度が目安です)だけで11%程度燃費が改善します。やさしいアクセル操作は、安全運転にもつながります。時間に余裕を持って、ゆったりした気分で運転しましょう。
- 2 加減速の少ない運転を**
車間距離は余裕をもって、交通状況に応じた安全な定速走行に努めましょう。

車間距離に余裕を持つことが大切です。車間距離を詰めたり、運転にムラのある走り方をすると、加減速の機会が多くなり、その分市街地では2%程度、郊外では6%程度燃費が悪化します。また、同じ速度であれば、高めのギアで走行する方が燃費がよくなります。交通の状況に応じ、できるだけ速度変化の少ない安全な運転をしましょう。
- 3 早めのアクセルオフ**
エンジブレーキを積極的に使いましょう。

エンジブレーキを使うと、燃料の供給が停止される(燃料カット)ので、2%程度燃費が改善されます。停止位置が分かったら、早めにアクセルから足を離して、エンジブレーキで減速しましょう。また減速したり、坂道を下るときにもエンジブレーキを活用しましょう。
- 4 エアコンの使用を控えめに**
車内を冷やし過ぎないようにしましょう。

気象条件に応じて、こまめに温度・風量の調整を行ないましょう。特に夏場に設定温度を下げすぎないことがポイントです。外気温25℃の時に、エアコンを使用すると、12%程度燃費が悪化します。
- 5 アイドリングストップ**
無用なアイドリングをやめましょう。

10分間のアイドリング(ニュートラルレンジ・エアコンOFFの場合)で、130cc程度の燃料を消費します。待ち合せや荷物の積み下ろしのための駐停車の際には、アイドリングを止めましょう。
- 6 暖機運転は適切に**
エンジンをかけたらすぐ出発しましょう。

現在販売されているガソリン乗用車においては、暖機不要です。極寒冷地など特別な状況を除き、走りながら暖めるウォームアップ走行で充分です。暖機することにより走行時の燃費は改善しますが、5分間暖機すると160cc程度の燃料を消費しますので、全体の燃料消費量は増加します。
- 7 道路交通情報の活用**
出かける前に計画・準備をして、渋滞や道路障害等の情報をチェックしましょう。

1時間のドライブで、道に迷って10分間余計に走行すると14%程度の燃費悪化に相当します。地図やカーナビ等を利用して、行き先及びルートをあらかじめ計画・準備をしましょう。また道路交通情報をチェックして渋滞を避ければ燃料と時間の節約になります。カーナビやラジオ等で道路交通情報をチェックして活用しましょう。
- 8 タイヤの空気圧をこまめにチェック**
タイヤの空気圧を適正に保つなど、確実な点検・整備を実施しましょう。

タイヤの空気圧が適正値より50kPa(0.5kg/cm²)不足した場合、市街地で2%程度、郊外で4%程度、それぞれ燃費が悪化します。また、安全運転のためにも定期的な点検は必要です。
- 9 不要な荷物は積まずに走行**
不要な荷物を積まないようにしましょう。

100kgの不要な荷物を載せて走ると、3%程度燃費が悪化します。車の燃費は、荷物の重さに敏感です。運ぶ必要のない荷物は、車から下ろしましょう。
- 10 駐車場所に注意**
渋滞などをまねくことから、違法駐車はやめましょう。

交通の妨げになる場所での駐車は交通渋滞をもたらす、余分な排ガスを発生させる原因となります。平均車速が時速40kmから時速20kmに落ちると、31%程度の燃費悪化に相当すると言われていています。

